

## オーストラリアにホームステイ 語学や文化を学ぼう！

志賀町青少年海外派遣事業実行委員会では、今夏に、町内在住の中・高校生を対象にした青少年海外派遣事業を計画しています。ホームステイをしながら、語学研修プログラムや英会話の学習、文化、スポーツ活動に参加してみませんか。

募集内容は次のとおりです。

1. 派遣先 オーストラリア クイーンズランド州 州都ブリスベン市およびその近郊
2. 派遣時期 7月26日(金)～8月4日(日)
3. 派遣人員 14人
4. 参加者個人負担金 12万円(パスポート取得手数料、海外旅行保険料、小遣いなどは含みません)
5. 応募資格
  - ① 志賀町在住の中学生、高校生(ただし、中学1年生は除く)であること。
  - ② 健康で、協調性があり、規律ある団体行動と積極的な活動への参加ができること。
  - ③ 研修会(事前・事後の計5回程度)に参加できること。
  - ④ 海外留学経験(6カ月以上)がなく、過去に行われたこの事業の派遣者でないこと。
  - ⑤ 帰国後も志賀町の実施する国際交流事業などに深く理解をもち、協力できること。
  - ⑥ 保護者の同意が得られること。
  - ⑦ 生徒の属する世帯において、町税の納付状況調査に同意できること。
6. 参加申し込み締め切り 5月9日(木) 17時まで
7. 派遣生徒選考会(作文により派遣生徒を決定します) 5月16日(木)

参加申込書は、志賀町教育委員会学校教育課・富来支所のほか、町内の各中学校と志賀高校に備えつけてあります。

お問い合わせ先 実行委員会事務局(学校教育課内) ☎ 32-9360

## 軽自動車税 減免申請

身体障害者手帳などの交付を受けた人で軽自動車を所有している場合、障害の種類・程度により、軽自動車税の減免を受ける事ができます。

### ◆受付期間 **5月1日(水)～5月24日(金)**

※期間を過ぎると減免を受けることができません。

### ◆対象車両

- ・身体障害者が常時使用するために改造している車両
- ・心身に障害がある人(精神障害者または18歳未満の身体障害者はその家族)が所有する車両で、自分で使用するか、本人のために使用されるもの
- ・公益のために直接専用する車両

### ◆申請に必要なもの

- ・手帳(身体障害者手帳・療育手帳・戦傷病者手帳)
- ・運転免許証、車検証、印鑑

### 《軽自動車税の減免を受けることができない場合》

普通自動車の減免を受けている人、または受ける予定の人は、軽自動車税の減免を受けることはできません。

※普通自動車の減免は、中能登総合事務所税務課(☎0767-52-6112)へ



軽自動車税・自動車税の納期限は

**5月31日(金)**

～期限内に納税しましょう～

＜納税場所＞

軽自動車税：金融機関、会計課、富来支所

自動車税：金融機関、コンビニエンスストア

中能登総合事務所

《お問い合わせ先》

軽自動車税 **町税**

税務課軽自動車税担当 ☎ 32-9142

自動車税 **県税**

石川県税務課 ☎ 076-225-1273

# 募集

平成 25 年度町立富来病院看護師等修学資金

## 修学資金で富来病院の看護師に！

返済免除

基本的に返済は免除されますが、養成施設を卒業後、1年以内に看護師などの免許を取得し、直ちに町立富来病院に就業することなどが要件となっています。

いくつかの要件に該当しない場合は、返済が必要となりますので、十分に検討してから申し込んでください。

- ◆**応募資格**
  - ・保健師、助産師、看護師の養成施設に在学し、卒業後、町立富来病院で看護師等業務に従事しようとする人
  - ・昭和 48 年 4 月 2 日以降に生まれた人
- ◆**募集人員** 3 人
- ◆**貸与金額** 月額 80,000 円
- ◆**提出書類**
  - ・看護師等修学資金貸与申請書
  - ・在学する施設長（学校長）の推薦書
  - ・在学する養成施設（修学年数が 1 年未満の場合は卒業した高校）の成績証明書
  - ・本人、保護者の世帯全員の住民票（本籍など省略しないもの）
  - ・誓約書

（※申請書類は町立富来病院で交付、または志賀町ホームページでダウンロード）

### ◆修学資金を返還することが免除となる場合

養成施設を卒業後 1 年以内に看護師などの免許を取得し、直ちに町立富来病院の看護師などになり、引き続き 5 年以上勤務したとき。

- ◆**申請期間** 看護師等養成施設に入学後、いつでも申請可能
- ◆**選考結果** 応募者には選考結果を通知しますが、応募資格を満たしていても対象から外れることがあります。
- ◆**提出・問合せ先** 町立富来病院 修学資金担当 ☎ 42-1122

この修学資金制度は、町立富来病院に勤務する看護師等の確保を目的として創設されました。

## 『志賀町都市計画マスタープラン基本構想』パブリックコメント

都市計画区域における「志賀町都市計画マスタープラン」の策定を進めています。今回、「基本構想」までを取りまとめましたので、素案を公表し、意見を募集します。

- ◆**公表する資料** 『志賀町都市計画マスタープラン基本構想』（素案）概要版

- ◆**募集期間** 5月13日(月)～31日(金)
- ◆**閲覧方法** 募集期間中（土・日曜日、祝日を除く）は次の通り資料が閲覧できます。  
閲覧場所：まち整備課、富来支所  
閲覧時間：8時30分～17時15分  
（※ホームページでも公開しています）

提出方法、意見様式などの詳しいことは、ホームページまたはまち整備課までお問い合わせください。

☎まち整備課 ☎32-9212

### 志賀町都市計画 マスタープランとは・・・

町の将来都市像を実現するために、都市計画の総合的な理念・目標・方針を定めるもの。

今回の基本構想には、大規模災害に備えた防災まちづくり、交流人口の拡大と町の活性化、人口減少傾向・少子高齢化社会への対応、町民が主体となったまちづくりの展開などについてのものです。



▲西山PA(上り線)は、多くの車で混雑

◀無料化を祝った郷土芸能の子ども太鼓

能登半島を縦断

## 能登有料道路が「のと里山海道」に

能登有料道路が3月31日(日)正午に無料化され、「のと里山海道」に名称が変わりました。

西山パーキングエリアの上り線では、無料化を記念したイベントが行われ、テント市や郷土芸能披露、海鮮鍋が振る舞われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。

海の幸が詰まった海鮮鍋は、用意した500食分が品切れになり、急ぎょ食材を追加。海鮮鍋を求めた多くの来場者の体や心を温めました。テント市では、志賀町の特産品やオリジナル商品などが店頭に並べられ、訪れた人に地元の味を提供していました。ステージでは、富来少年八幡太鼓や増穂少年太鼓、加茂太鼓クラブが、元気いっぱい太鼓をたたき無料化を祝いました。

サーベイメーター取扱研修

## 消防団が原子力災害時に備える

町内の消防団に配備されている放射線測定器(サーベイメーター)の取扱講習会が、3月24日(日)に地域交流センター(西山台)で行われ、消防団員約50人が使用方法などを学びました。

放射線の基礎知識、平常時や異常時の測定方法、機器の管理方法などの説明を北陸電力の社員から受けた後、実際に機材に触れて測定を行いました。原子力災害が発生するなど緊急時に対応するために、消防団員は真剣に耳を傾け、機材の使用方法を確認していました。



研修会場でサーベイメーターに触れる消防団員

保育園児の植栽体験

## 春・色とりどりの花植え

花に慣れ親んでもらおうと、花のミュージアム・フローリィで園児の植栽体験が行われ、加茂保育園と甘田保育園の園児23人は、3月27日(水)に花の苗植えを体験しました。

園児らは、フローリィスタッフから植え方を教えてもらいながら、デージーやワスレナグサ、コツラ、ビオラなど6種類の花をプランターに植えました。植えられた花は、フローリィ内のエントランスホールに飾られ、館内を彩りました。



プランターに花を植える園児

献穀米を栽培

## 矢駄の米 新嘗祭に献納へ

今年の宮中の新嘗祭に献納する献穀米を栽培することになった西村秀正さんと芙美江さん夫妻(矢駄)は、3月27日(水)に役場を訪れ、小泉町長に栽培への意気込みを話しました。

西村さん夫婦は「献穀米にふさわしいおいしい米をつくりたい」と話し、小泉町長は「秋の収穫までは大変だと思うが、がんばってください」と激励しました。

志賀町での献穀田は8年ぶり、志賀地域での献穀田は27年ぶりとなります。



役場を訪れた西村秀正さんと芙美江さん

志賀町男女共同参画審議会

## 第2次男女共同参画行動計画案を答申

3月28日(木)に、志賀町男女共同参画審議会の金森美津雄会長と能登正人職務代理者は、第2次男女共同参画行動計画案を小泉町長に答申しました。

町の各種審議会についての女性登用率は、県平均を大きく下回る19.8%で、案では積極的に女性の参画促進に取り組む事などを盛り込んでいます。男女の仕事と生活の調和の実現のため、金森会長は自治会など地域組織への女性の登用や女性防災士育成の必要性を伝えました。



答申を手渡す金森会長(中央)と能登職務代理者(左)

町内19番目の長寿

## 100歳おめでとうございます

特別養護老人ホームはまなす園に入所している本名かず江さんが100歳を迎え、庄田副町長や家族、施設職員から祝福を受けました。

本名さんは、90代半ばまで畑仕事をしていたといい、今は施設で体操をしたりして元気に過ごし、施設の仲間とおしゃべりを楽しんでいます。

庄田副町長から祝い状や花束を受け取った本名さんは「こんな盛大に祝ってくれるとは思っていなかった。みんなに感謝します」と笑顔で話しました。



家族らに囲まれ祝福を受けた本名かず江さん

花見高爪山登山ツアー

## 田舎暮らしの遊び 高爪山を登山

能登のパワースポットの一つで、能登富士と呼ばれる高爪山(標高341m)。町内外の30人が、4月14日(日)に高爪山(大福寺)を登山しました。

登山を呼びかけた中島正士さん(大福寺)は、「この地域の存在を知ってもらい、緑を感じながら自然と触れ合う機会を与えたかった」と企画した意図を話しました。

山頂へは約20分で到達。金沢市から参加した男性は「登山道に生える草花や木々を見て自然を感じた」と話し、気持ちの良い森林浴をした様子でした。



山頂の高爪神社は能登半島地震の爪痕が残ったまま